



平成28年2月22日

国土交通省

お知らせ

菅沢ダム天端リニューアル&記念カード配布！

～ダムに寄ってもらって、流域巡って、水源地域活性化～

日野川河川事務所が管理する菅沢ダム(日南町菅沢)では、施設更新工事等のため天端(ダムの一番高い部分)を通行止めとしていましたが、今回、天端の整備工事が完了したことから安全な通行が可能となり、約7年ぶりに年間を通じて対岸まで行くことができるようになります。

この度、ダムに対するご理解を深めて頂くとともに、ダム流域の自然・歴史文化を巡って頂くことで地域活性化の一助となればとの思いから、天端リニューアルを記念したカードの配布を行います。

★天端の通行は、平成28年2月24日(水)からできます。〈記念行事等はいりません〉

★記念カード配布要領は次のとおりです。

○配布期間：平成28年2月24日～平成28年3月末(予定)

○配布場所：菅沢ダム管理支所[8:30～17:00]
大宮地域振興センター[平日のみ8:30～17:00]

○受け取り方法：上記配布場所にて、申し出・手渡し、おひとり1枚

※記念カードは、通常配布している「ダムカード」ではありません。

記念カード

〈表面〉



〈裏面〉



なお、菅沢ダム流域を巡られる方は、「菅沢ダム流域巡りガイドマップ」(添付)をご参照ください。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

日野川河川事務所

〈企画担当〉事業対策官

〈広報担当〉調査設計課長

TEL 0859-27-5484

菅沢ダム管理支所長

TEL 0859-87-0311

つねやす まさひろ
常保 雅博
はまだ やすひこ
濱田 靖彦
かとう ひろゆき
加藤 弘行

(代表)

アクセス





国土交通省

添付資料：ダム天端写真等

ダム建設当時(昭和43年)の天端



整備後の天端



高欄(手摺り)：コンクリート壁 → **鋼製**(外すことが可能で通路幅を広く使用できる)
(隙間から上下流が覗ける)

通路面：コンクリート → **アスファルト** (荒れたコンクリート面上に舗装)

左岸展望広場からダム堤体を望む



⑦ たたら楽校大宮楽舎

いんがはがね
 印賀鋼は、数々の名刀を生み出す優れた鋼として有名でした。

大宮楽舎は、旧大宮小学校校舎(現大宮地域振興センター)を利用して、たたら製法をわかりやすく解説した展示館となっています。
 TEL0859-87-0911



⑧ 聖滝

秋原川沿い、主要地方道48から1kmほど入ると、二段の美しい滝が現れます。
 地元の言い伝えによると、木花咲耶姫このはなさくやひめと槵々杵命にぎのみことがこの滝の前で、結婚の儀を挙げたという、清らかで美しい滝です。

なお、木花咲耶姫の姉の磐長姫は、日南湖畔センター②近くの菅沢神社の祭神です。



⑨ 呼子たたら跡

呼子高原にあるたたら高殿(炉を納める建物)跡には製鉄炉の地下構造の穴、金屋子神社かなやしろ社、水路跡が今も残り、雑木林の中にかつての山内の様子が見て取れます。



金屋子神社社と石碑

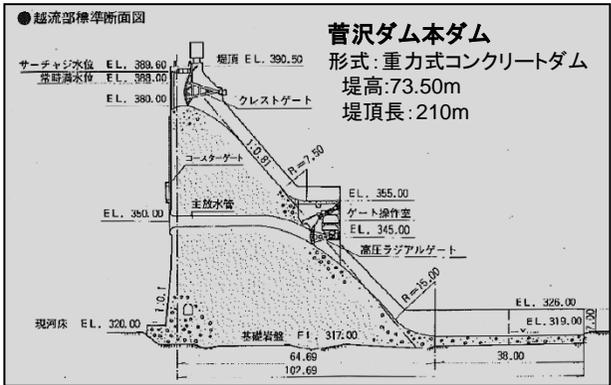
⑩ ヒメボタル(福万来) 7月上旬

杉林や竹やぶなど森に生息するヒメボタル。森の小草あたりがチカチカ光る風景はまるで星空のよう。目の前の川ではゲンジボタルも舞い、森のホタルと川のホタルを同時に楽しめる、全国でも珍しいスポットです。



Photo by m.aimi
 福万来ヒメボタル乃国はがきより

参考資料：鳥取県日野郡エコツーリズムガイドマップ「日野路往来」



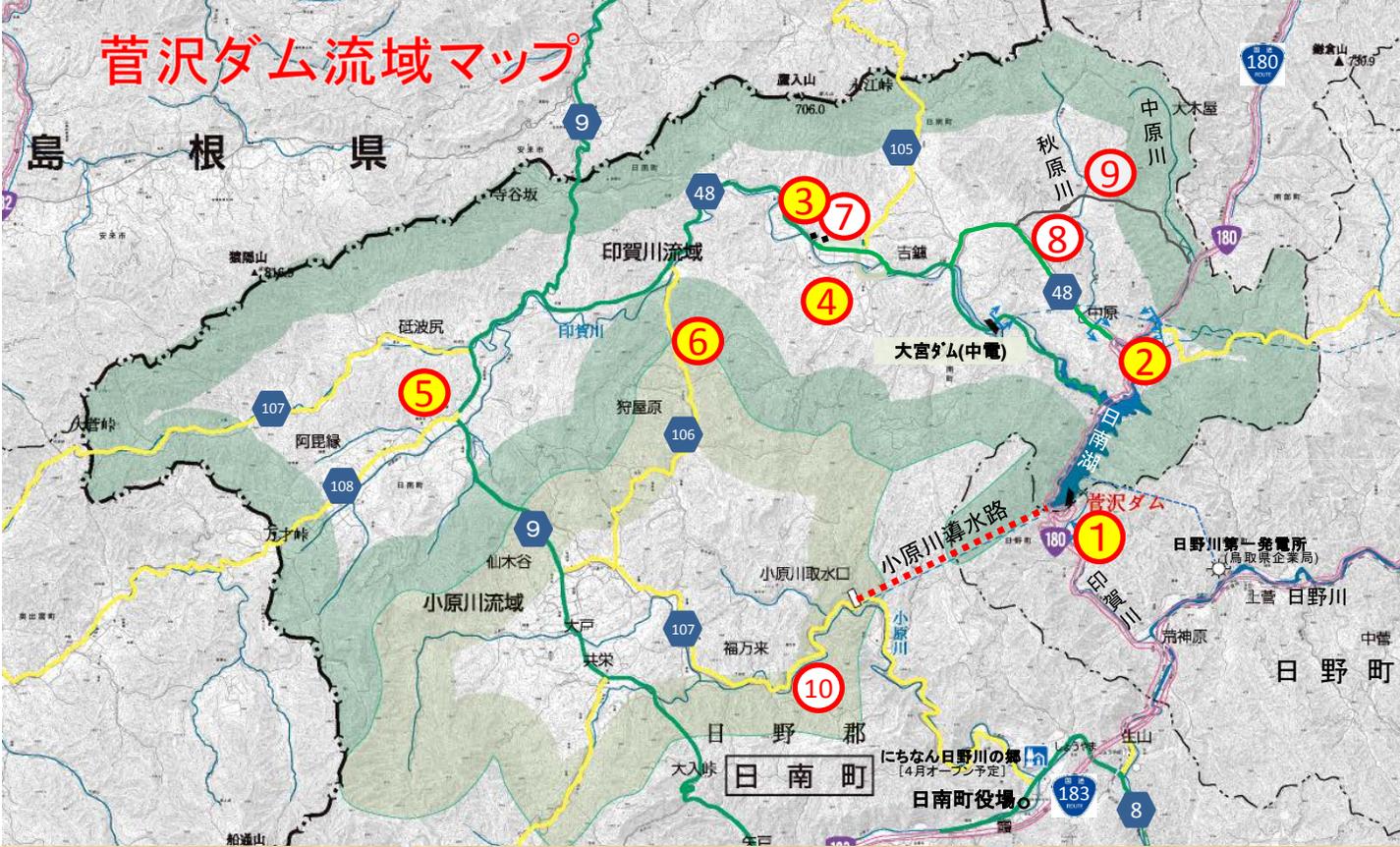
国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所 菅沢ダム管理支所
 〒689-5532 鳥取県日野郡日南町菅沢字川西山112-10 TEL0859-87-0311

**菅沢ダム流域巡り
 ガイドマップ**



※記念カードは、菅沢ダム管理支所及び大宮地域振興センター⑦(平日のみ)にて配布しています。[3月末まで]

菅沢ダム流域マップ



① 菅沢ダム

菅沢ダムは、鳥取県内最大級の多目的ダムで、中国地方整備局が管理するダムでは最古(昭和43年9月完成)です。平成28年1月にダム天端のリニューアルが完了し、平成30年には完成50周年を迎えることとなります。

ダム管理支所2階には「ふれあい展示ホール」を開設しており、菅沢ダムの歴史、水や川に関する資料などをどなたでもご覧いただけます。



ふれあい展示ホール
開館時間：8時30分～17時

② 日南湖畔センター

運動場や遊具などの公園が整備されています。入り口にはかつて全国にその名を広めた印賀鋼を含んだ石がモニュメントとして残っています。



③ 楽楽福神社(印賀)

音無川伝説にある孝霊天皇の皇女福姫が主祭神です。ササはたたら原料の砂鉄、フクは砂鉄を精錬した鉄を取り出すことで、ササフク神は探鉱、冶金の神であったとされています。



①～⑥は「流域開運守り」掲載箇所です。
⑦～⑩は裏ページに記載しています。

④ 印賀宝篋印塔 と 八幡山

印賀宝篋印塔は、南北朝時代の武士達が、自らの死後の冥福を祈って法華経を供養した塔といわれています。印賀宝篋印塔のある八幡山からは大宮校区(印賀平野)を一望できます。



⑤ 阿毘縁山(解脱寺)

1650年開創し、日蓮聖人自作の像があることから、地元で「高祖さん」と親しまれる古刹です。祖師堂天上に描かれた西日本最大級の畳65畳分の龍神天上画は必見ですが、撮影禁止で、拝観には事前連絡が良いでしょう。また、山門前のモミ並木は鳥取県の天然記念物に指定されています。
Tel.0859-87-0401



阿毘縁山発行
九頭龍神図カードより

⑥ ダム流域界の地福寿実

県道106多里伯太線脇の標識付近が、菅沢ダムへ直接流入する印賀川流域と小原川導水路を通して流入する小原川流域との境界です。標識内の「夢の道、やがて花見の歌声も」の句には、福寿実地区が桃源郷だと思わせるものがあります。

